

飯山高等学校同窓会報

第6号

発行・編集
飯山高等学校
同窓会
印刷
(有)足立印刷所

飯山北高校との第二次統合が スタートしました

飯山高等学校同窓会長 関 保典



向春の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。日頃より飯山高校同窓会の諸活動にご理解、ご協力をいただき、多大なご助力を賜りまして、心より感謝を申し上げます。今冬の飯山は昨年末の大雪で、このままいくと1~2月にどれ程の降雪があるか心配でございましたが、年が明けてみればほどほどの降雪状況で、飯山らしい冬であったと思っております。皆様は如何でございましたでしょうか。

さて、26年4月から、飯山高校は飯山北高校と第二次統合をいたしました。4月5日に飯山市民会館において入学式が挙行され、新生飯山高校は普通科3学級・探究科2学級・スポーツ科学科1学級の、1学年6学級でスタートいたしました。新しい服に身をつんだ入学生は希望に満ちた姿であり、「自分の目標に向かって充実した高校生活を送ってください」と入学生の皆さんにエールをおくりました。

一方、校舎の建築状況ですが、かなり進展しております。25年10月には校地東側に特別教室棟、中央に管理棟および普通科・スポーツ科学科棟、西側に探究科棟が完成しておりますが、現在は校地南側にスポーツ科学科の授業に対応できる大体育館の建設がすすめておられ、まもなくその全体像が見られるも

のと思われれます。新生飯山高校にふさわしいすばらしい校舎になるものと、期待をしております。

ところで、同窓会の今後のあり方については、飯山北高校同窓会（桂蔭会）との間で検討を重ねておりますが、28年6月18日に飯山高校第二次統合完成式典を行うことで話し合いがなされております。さらに29年1月頃に両校同窓会の統合式典を行う予定で準備をしております。記念式典など若干の支出が予定されておりますが、会員の皆様のご理解を賜りますよう、お願いを申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、さらに飯山高校の発展をご祈念申し上げて、挨拶とさせていただきます。

二次統合の開始と飯山高校の使命

飯山高等学校校長 渡辺 藤夫



大雪に見舞われ除雪作業に追われた今年の冬でしたが、ようやく春の気配を感じる時期となりました。同窓会員の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から本校の教育活動や教育環境の充実のために多大なるご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

今年度は、本校と飯山北高校が二次統合を開始した歴史的な年でした。かつては飯山市内に3校あった高校が1校になることから、二次統合校ではオールラウンド性と卓越性を

両立しながら地域の持続可能性に貢献する教育活動を展開していくことが今後ますます重要になっていくと感じます。

この一年間、二次統合校の一期生については、探究科と普通科の生徒は北キャンパスで、スポーツ科学科の生徒は南キャンパスで学校生活を送って参りました。それぞれの学科の特徴を活かしながら、各キャンパスの先輩から伝統を引き継ぎ、新たな学校を創造していく先導役として勉強に部活に励んでおります。

そのような中、今年度の卒業生（普通科70名、スポーツ科学科1期生31名）については、就職状況が難しい中、北信を中心に21名の就職先が内定し、地域を支える人材として巣立ちます。進学者についても現在のところ四年制大学22名、短大9名、専門学校45名が決定しております。卒業後も本校の同窓生として各方面での活躍を期待するとともに、この地域や母校を大事に思う気持ちを忘れないでいて欲しいと願っております。

現在は、スキーシーズン真只中であり、秋田県鹿角市で2月5日から5日間、全国高校スキー大会が開催され、女子は2年連続の総合優勝、男子は総合5位に輝きました。個人では女子クロスカントリーにおいて、5kmフリーで1年生の小林千佳さんが優勝、3年生の渡邊祐佳さんが5秒差で4位入賞、クラシカルでも3年生の唐木永乃さんが4位入賞、そして、3人で出場したりレレーでは見事2年連続の優勝を果たしました。小林千佳さんは昨年の中学生チャンピオンではありますが探究科生であり、シーズン始めはなかなか調子が上がらずにいました。全国大会に照準を合わせ高橋監督の下でコンディショニングを上げ見事に結果を出しました。2年連続での女子総合優勝は近年果たせなかったこともあり、通算20回目の女子総合優勝に華を添えました。まさに、南北キャンパスの力を結集した優勝であり統合の象徴として大変価値ある優勝であると感じます。また男子も健闘し、コンパインドで2年生の伝田英郁君

が準優勝、藤本智元君が8位入賞、クロスカントリーレレーでも4位に入賞しました。スキー関係者をはじめ、地元にとって元気の出る結果を残してくれた選手たちを称えたいと思います。

また、カザフスタンで行われていたノルディックスキージュニア選手権大会では、個人で上位入賞は果たせなかったものの、1年生の丸山希さんが女子ジャンプ団体で銅メダル、男子複合団体で中村優斗君・山本涼太君が6位入賞を果たしました。スキー以外でも、昨年に引続き普通科2年生の竹内遼君はチェコで行われた自転車シクロクロス世界大会ジュニアの部に日本代表として参加しました。残念ながら上位入賞は果たせませんでした。世界で活躍する選手が本校から何名も出てきていることは大変素晴らしいことであり、同窓会から出場激励金や応援懸垂幕をいただきましたことに感謝申し上げます。

この3月には、念願の北陸新幹線が開通し、飯山の地域は新時代を迎えます。本校では二次統合校の二期生を迎え、更に新たな学校へと姿を変えていきます。来年度末には南キャンパスから北キャンパスへの引越しを行い、卒業のあと校舎閉鎖式を行う予定であり、平成28年4月からは北キャンパスで全員が生活するようになります。南キャンパスは飯山市に譲渡し、平成28年9月から城南中学校が校舎を使っていくこととなります。これまで正面の校門付近にあった飯山南高校時代のいくつかの記念碑は、昨年9月に同窓会の事業として、後世に栄光の足跡を伝えていくよう校門に向かって右手、校地の北東の角に移設していただきました。

同窓会の統合につきましても、平成29年1月の新同窓会の設立総会をめざし、同窓会の組織・会則・運営等について検討をしていただいております。

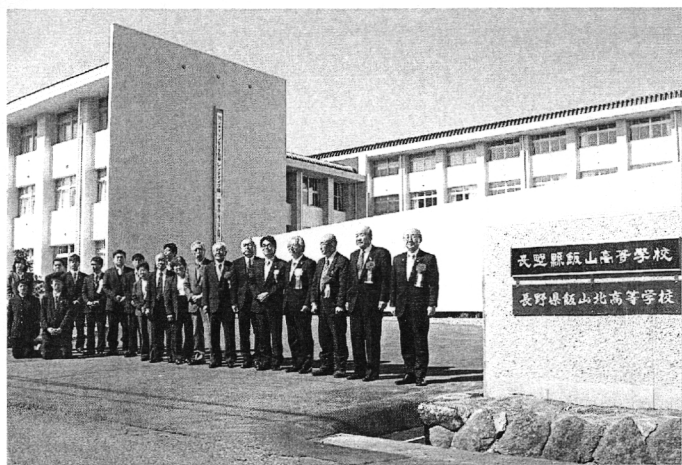
飯山市唯一の高校として発展していくことができるよう今後とも同窓会のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

飯山北高校との第二次統合が始まりました

4月1日

小山紅苑さん揮毫による 校名板の披露式で 新生飯山高校がスタート

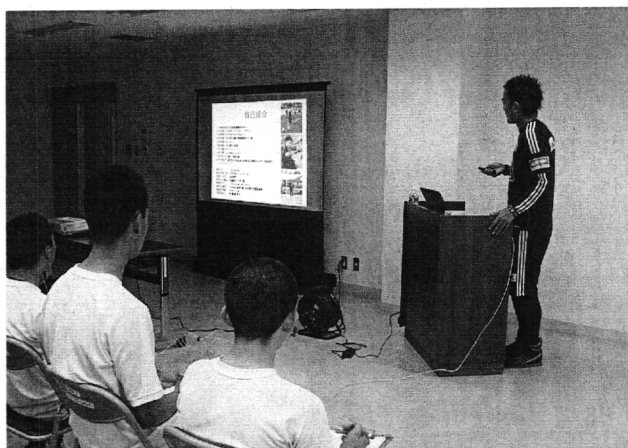
平成26年4月1日、飯山北高校との第二次統合が開始され、新生飯山高校がスタートをしました。両校の関係者が一同に会して校門の校名板の披露式を行い、飯山高等学校の新しい船出を祝いました。飯山にゆかりの深い小山紅苑さん揮毫による校名板は、飯水岳北地域の教育史に新たな1頁を記すものとなりました。



5月・10月

1年生がSSH関連授業にとりくむ

5月30日(金)は、1年生が自然観察フィールドワークを行いました。スポーツ科学科にとっては初の試みでしたが、貴重な動植物が生息する斑尾高原沼の原湿原でインストラクターから説明を受け、身近な自然の素晴らしさを感じた1日となりました。また、10月10日(金)にはサイエンスツアーで松本へ行き、松本大学で講義を体験した他、松本山雅FCの本拠地アルウィンで元選手の講演を聞きました。いずれも飯山北高校が文部科学省から指定を受けて実施しているSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)に関連する授業です。



10月31日

記念碑の移設が完了し、 除幕式が行われました

10月31日(金)に同窓会役員で、記念碑の移設完成式を行いました。これまで、正面の校門付近にあった碑を北東の角に集め、校地が城南中学校に移管された後も支障がないように配慮しました。移設したのは「インターハイ男女優勝記念碑」「創立80周年記念碑」など4つの石碑で、いずれも本校の歴史を思い起こさせてくれる貴重な記念碑です。



記念碑移転完成式(H26.10.31)

スキー部女子 昨年に続いて全国制覇 男子も総合5位と健闘

2月5日から秋田県鹿角市で開催されていた全国高校スキー大会は、女子は2年連続での総合優勝、男子は総合5位に輝きました。個人では女子クロスカントリーにおいて、5kmフリーで1年生の小林千佳さんが優勝、3年生の渡邊祐佳さんが5秒差で4位入賞、クラシカルでも3年生の唐木永乃さんが4位入賞、そして、3人で出場したりレーでは見事2年連続の優勝を果たしました。2年連続での女子総合優勝は近年果たせなかったこともあり、通算20回目の女子総合優勝に華を添えました。

これに負けじと男子も健闘し、コンバインドで2年生の伝田英郁君が準優勝、藤本智元君が8位入賞、クロスカントリーレーでも4位に入賞しました。スキー関係者だけでなく、地元にとって元気の出る結果を残してくれました。

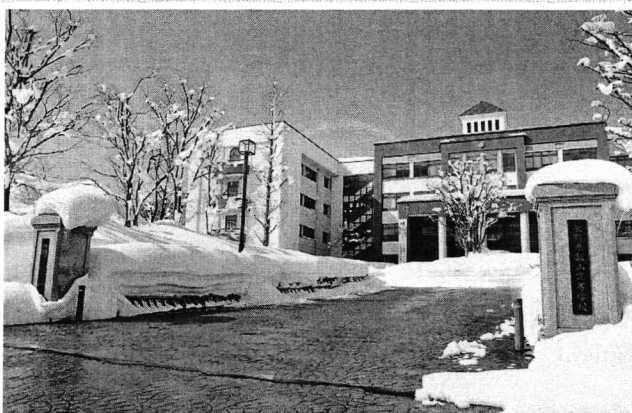
小林千佳さんは北キャンパスで学ぶ探究科の生徒であり、昨年の中学生チャンピオンであるとはいえ、シーズンを始めはなかなか調子が上がらずにいました。全国大会に照準を合わせ高橋監督の下で調整を続け、見事に結果を出しました。まさに、南北キャンパスの力を結集した優勝であり、統合を象徴する優勝となりました。



同窓会事務局より

晴天に恵まれた1月の、雪景色の中にあらずむ南キャンパスの校舎です。この校舎で学ぶ日も、残すところ1年余。平成28年3月5日(土)には卒業式に続いて校舎閉鎖式が行われ、懐かしの校舎に別れを告げることとなります。

そこで、この校舎を青春の学舎とした同窓生の皆様のために、8月の夏期休業中に「ホームカミングデー」を設ける予定です。日時など詳細は学校のホームページで改めてお知らせをしますが、同窓生の皆様には校舎に別れを告げる最後の機会となりますので、ぜひお立ち寄りください。



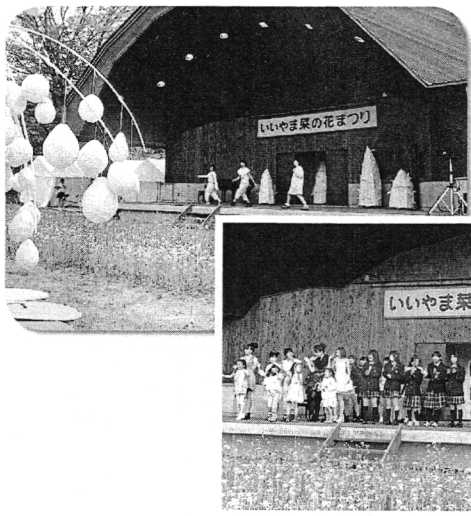
南キャンパスこの1年

「キャンパス情報誌の主要記事でふり返る」

5月

積極的な地域貢献活動
「菜の花まつり」で美術部が活躍

5月3日(土)、菜の花公園で開催された「いいやま菜の花まつり」で、OKA学園の学生とともに美術部・JRCの生徒中心に本校生がイベントに参加しました。本校生の地域貢献の1コマです。



7月

飯高生の底力を見せた第8回雪花祭

7月5日(土)、6日(日)の両日、南キャンパスでは雪花祭を行いました。統合初年度の文化祭をどうするか両校の生徒会で協議した結果、これまでの取組みを生かしながら、それぞれの持ち味をキャンパス別に地域の皆さんにアピールすることになりました。両キャンパスを結ぶシャトルバスも運行し、多くの方々にも両方の文化祭を見ていただきました。雪花祭はこれまで以上に充実した内容となりました。



正面のアーチと横断幕



堂々たるテーマの筆字



盛り上がった運動会



榎の下のトトロ



虹の階段装飾

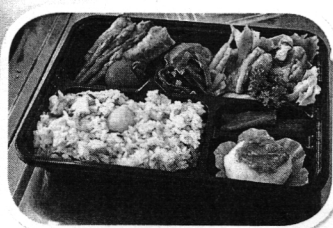


中庭の壁画と鬼島太鼓

8月

積極的な地域貢献活動
「新幹線飯山駅開業駅弁コンテスト」に参加

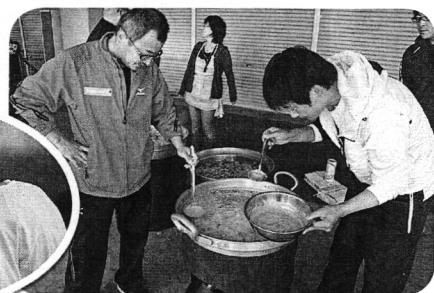
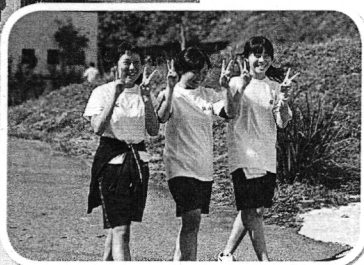
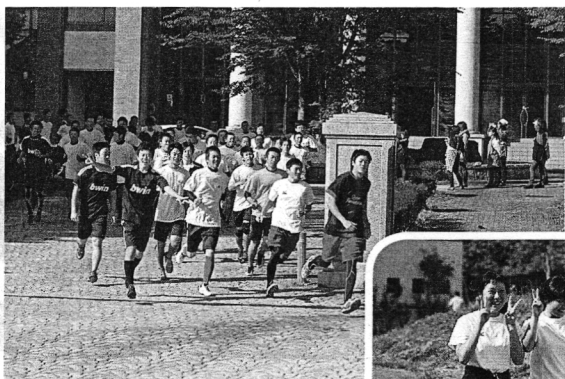
新幹線開業に向け、飯山市、飯山商工会議所、北信州みゆき農協などが実施する「オリジナル駅弁コンテスト」に飯山高校の生徒も参加、8月21日(水)、審査に向けて本校で駅弁作りが行われました。地元食材を活かして作られた駅弁は、審査の結果次第では商品化が検討されるそうです。果たして飯山高校の駅弁は誕生するでしょうか!?



10月

北キャンパスの1年生も参加して
強歩大会が行われました

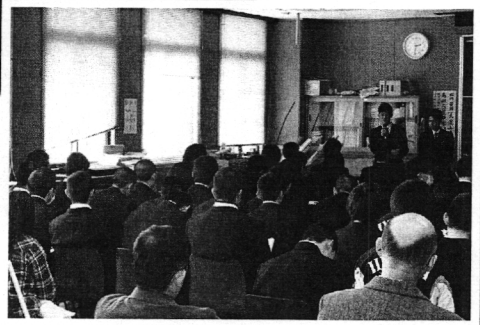
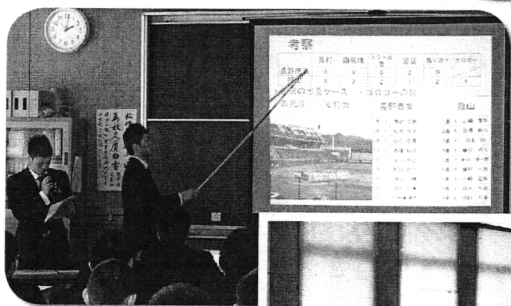
10月24日(金)、伝統の強歩大会が行われ、北キャンパスの1年生、渡辺校長も含め424名が27km余りのコースにチャレンジしました。男子1位は佐藤聖也君(1年)、女子1位は小林千佳さん(1年)でした。ゴール後には、保護者の方々から豚汁が振る舞われました。ごちそうさまでした。



1月

スポーツ科学科卒業研究発表会を開催

1月23日(金)にスポーツ科学科の卒業研究発表会がありました。スキー専攻の生徒は欠席でしたが、1年生から3年生までのスポーツ科学科生が7グループの研究発表を聴きました。保護者の皆様や他校の先生方も出席いただき有意義な発表会となりました。今後はSSHの取組の一環とも位置づけ充実させていきたいと考えています。



多方面で活躍する飯高生

全国高校生パンコンテストと
シンクロナイズド世界大会に飯高生が出場

1月17・18日、伊豆の国市で開催された全国高校生パンコンテストに篠原祥治君が出場しました。応募者339名の中から選ばれた篠原君は、「ふるさと」のビタミンドールでカリフォルニアレーズン部門に出演し、伊豆の国市教育委員長賞を受賞しました。篠原君は調理師を目指しており、パン作りも大好きです。

一方、竹内遼君は1月22日〜2月3日、チエコのタボールで開催されるシンクロナイズド世界選手権ジュニア男子の部に日本代表選手として出場しました。昨年に続き2年連続の出場となります。
小学校から個人的に自転車競技を続けてきた竹内君は、将来はプロを目指しています。



平成 26 年度同窓会総会

6 月 15 日 (日)、市内南町の「びつくわん」で平成 26 年度の総会を開催しました。例年のように前年度の事業報告・決算報告、新年度の事業計画・予算案の審議の他、進行中の第 2 次統合に関する審議もいただき、事務局提案のようにご承認をいただきました。その後は、ソチ五輪にも出場をした成瀬野生氏による「スキーで磨いた人間力」と題する講演も行い、母校で実習中の教育実習生の先生方も加わって、熱心に聞き入っていました。



平成 25 年度 飯山高等学校同窓会会計決算書

1 総括 収入金額 2,192,554 円 支出総額 1,113,554 円 差引残高 1,079,000 円

2 収入 (単位：円)

科目	予算現額			収入済額 (B)	予算済額に対する増減(B)-(A)	備考
	当初	補正	計 (A)			
入会金	1,110,000		1,110,000	1,110,000	0	1学年(入学時)@10,000円×111名
繰越金	1,077,781		1,077,781	1,077,781	0	前年度からの繰り越し
諸収入	12,219		12,219	4,773	△ 7,446	預金利息 (定期積立預金利息含む)
合計	2,200,000		2,200,000	2,192,554	△ 7,446	

3 支出 (単位：円)

科目	予算現額			支出済額 (B)	支出残額 (A)-(B)	備考
	当初	補正	計 (A)			
事業費	400,000		400,000	258,329	141,671	総会での講演会講師謝礼、会報印刷、校章、卒業記念品等
会議費	250,000		250,000	149,390	100,610	総会、役員会等経費
教育支援費	700,000		700,000	353,822	346,178	キャリア教育ほか講演会講師謝礼、スキー部員世界大会出場懸垂幕製作ほか
交際費	100,000		100,000	45,000	55,000	転退職者餞別ほか
事務費	130,000		130,000	35,798	94,202	総会等連絡通信費、会報送付費
積立金	0		0	0	0	
予備費	620,000		620,000	271,215	348,785	新飯山高校エアコン設置工事分担金
合計	2,200,000		2,200,000	1,113,554	1,086,446	

○平成 25 年度 積立金会計 (特別会計) 平成 26 年 1 月末現在 (単位：円)

積立年月	元金	利子	元利合計	備考
平成 22 年 4 月	740,000	0	740,000	2 年定期リレー元加式
合計	740,000	0	740,000	

平成 26 年度 同窓会役員

○今年度の同窓会は左記の体制で運営してきました。

- 会長 関 保典
- 副会長 吉越 英子・上松 猛
小林 厚子・太田 良夫
宮澤 浅雄
- 会計 上松 敬・竹内 誠
- 書記 高橋幸一郎・藤沢 重徳
- 幹事 池田 充栄・中沢のり子
石田 慶子・中沢 幸子
鈴木 静雄・齋藤多喜男
増山 裕子・石田美恵子
増山 保範
- 監事 岸田さと子・平野 正幸
- 顧問 岩崎 彌・渡辺 藤夫
小林 正弘
- 特別顧問 猪瀬 清徳
- 校内幹事 高橋幸一郎・藤沢 重徳
宮沢 悠太

